



ゆうあい

校長ブログ→



学校教育目標：『在りたい自分を創る主人公』

2025(Ｒ7)年 9月 1日
豊岡市立豊岡小学校 学校だより
No8 児童数324名

『今の可能性を伸ばしながら、将来もがんばれる人に』

- ◆ 夏季休業中に、研修会に参加しました。そこで、元阪神タイガースの監督、矢野燿大（やのあきひろ）氏の講演を聴くことができました。
約90分の講演でしたが、その中でも特に印象深いお話がありました。

プロ野球の選手寿命は約7年。高卒の選手は25歳、大卒の選手は30歳でプロ世界を去っていきます。プロ野球選手の後には長い人生がある。プロ野球の先でも通用する心の持ち方や考え方を徹底的に指導し切りました。

「脳とメンタルを最幸の状態にする」ことを目指してやってきました。

1番は「可能性を信じ切る」ということです。

昔、陸上競技では1600mを4分切るタイムで走ることは無理だとされていました。選手はもちろん、コーチもできない理由をたくさん挙げて、無理だと言いました。ところが、ある選手が、「絶対に4分を切る」と宣言し、実際に4分を切ることができました。するとどうでしょう。あんなに「無理だ」と言っていた他の選手たちも次々と4分を切るようになり、1年後には30人近く4分を切る選手が現れました。リーダーは「その気にさせてやること」「可能性を信じ切ること」が大切です。たとえうまくいかなかった、ミスしたり、失敗したりする中に、成功までの過程の中に、価値を見つけられるかが問われます。

盗塁を失敗すると、へこみます。「監督やコーチに何と言われるのだろう。」「試合に出られなくなったらどうしよう。」そんな不安に陥ります。

しかし、失敗から学んで、チャレンジし続けることは、最も大切です。選手のよい所を見る。「できないところは伸びしろなんだ。」と励まし続ける。こういう関わりこそが、選手に「あきらめ癖」をつかせないのだと思います。

「超積極的」という言葉が大好きです。選手には「どんどんいけ～!」と言い続けました。うまくいけば、「すごい!」「お前はできる!」と言いますし、失敗すれば「どうしたらいい?」「まず何から修正する?」と聴く役に徹します。選手にとっては「考える時間こそが学ぶ時間」です。結果ではなくチャレンジすることに価値があり、成功するまでのプロセスこそ価値があるのだと信じています。

- ◆ 豊岡小学校でも、やり抜く力、自制心、協働性などの非認知能力の向上を大切に、教育活動に取り組んでいます。9月下旬の運動会。当日までの期間、子どもたちが、主体的に、仲間と一生懸命、競争したり協力したりして、やり切る姿を、教員も保護者も一生懸命見守りましょう。当日までのプロセスに、子どもたちの非認知能力の向上を見取りましょう。2学期もどうぞよろしくお願いします。

【学校運営協議会～学校家庭地域でこんな子どもに育てよう～】

学校運営協議会（コミュニティスクール）として、こんな子どもに育てたいという「めざす子ども像」について議論されました。

○

○

○

○

○

保護者の皆様から頂いたご意見

○

○

○

学校でも、地域やコミュニティの取組でも、家庭でも、特に意識して子どもの成長にプラスに働くよう、親しみやすい合言葉に今後整えていく予定です。

～子どもの安全確保、見守りをお願いします～

厳しい残暑の中、2学期が始まりました。防犯ボランティアの皆様には、子どもたちの登下校の見守りを、ずっと続けていただき、心から感謝申し上げます。2学期も、子どもたちが事故なく、けがなく、不審者等の被害にもあわず、元気に登下校できますよう、ご協力をお願いいたします。子どもたちの様子で気になることがありましたら、遠慮なく小学校にお知らせいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

～家庭学習習慣の定着にご協力を～

2学期以降も、家庭学習の時間の確保と、その定着に向けて取組を進めます。学年の発達段階に応じて、家庭での学習時間の目安があります。低学年15～30分、中学年45～60分、高学年75～90分です。定例の漢字、計算、音読に加え、自主学習に取り組む学年もあります。「自分で学習の時間、場所、順番、内容を決め、やり切る」「学習内容を選び、調整しながら、学習習慣を創る」ことを目的としています。保護者の皆様のチェックと、励ましの言葉かけが不可欠です。何卒ご協力くださいますようお願いいたします。

☆2年2組の担任が着任しました

福井麻菜美の産休育休に伴い、2年2組担任 川口 友佳子（かわぐち ゆかこ）が新たに着任しました。子どもたち一人一人の安心と学びを確保できるよう、学年団で情報共有しながら指導と支援にあたります。保護者の皆様との連携をいっそう密にし、子どもたちが健やかに伸びていくように願っています。どうぞよろしくお願いいたします。

★留守番電話が17：00～7：30に、変更になりました

9月1日から留守番電話が17：00～7：30となりました。保護者の携帯電話に学校からの着信があった場合、17：00以降は学校への電話はつながりません。学校から当日再度お電話するか、翌日改めてお電話します。警察、消防救急など児童の緊急を要する重大な事案が家庭・地域で発生した場合は、市役所（23-1111）にお電話ください。学校から折り返しご連絡します。よろしくお願いいたします。